

農村を元気にする 研究開発とは？

参加費
無料

日時

平成29年 **8月9日** (水)
12:45~16:45 (受付12:00~)

- 地域の活性化に熱心な地方自治体の首長等の3講演で構成
- 農研機構から農村を元気にするための研究開発を提案

講演

- ① 「『大地が人を育む、めむる農業』～個性のまま生き、自立するまち～」
北海道芽室町長 宮西義憲
 - ② 「雛とべに花の里でのスマート農村構想」
山形県河北町長 田宮栄佐美
 - ③ 「土・人・地域をつくる『有機の里』構想の実現を目指して」
日本オーガニックカレッジ代表 (神石高原町) 田邊真三
 - ④ 農研機構発「農村を元気にする研究開発」とは？
農研機構農業環境変動研究センター 山本勝利
- コメンテーター：農研機構中央農業研究センター 梅本 雅



開催場所

日比谷図書文化館 (地下1階)
日比谷コンベンションホール
東京都千代田区日比谷公園1番4号



日比谷図書文化館
ホームページより

参加申込

定員：200名
申込締切：平成29年7月31日(月)

- 参加には事前の申し込みが必要です。
- ホームページから、またはチラシ裏面の申込書によりお申し込みください。
- 定員になり次第、締切りとさせていただきます。

★詳しくはウェブサイトで検索

農研機構 検索

<http://www.naro.affrc.go.jp/>

「イベント・
セミナー」
を見てね!

問い合わせ先

農研機構本部 経営戦略室

TEL: 029-838-8346 FAX: 029-838-8525

- 主催 農研機構
- 後援 農林水産省農林水産技術会議事務局

 **農研機構**

※農研機構は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム（通称）です。

8月9日（水） 「農村を元気にする研究開発とは？」 プログラム

開会挨拶

農研機構 理事長 井邊 時雄

講演

13:00～16:15

- ① 「『大地が人を育む、めむろ農業』～個性のまま生き、自立するまち～」
北海道芽室町長 宮西 義憲
(農研機構北海道農業研究センター 寒地畑作研究監 吉永 優)
- ② 「雛とべに花の里でのスマート農村構想」
山形県河北町長 田宮栄佐美
(農研機構農村工学研究部門 広報プランナー 遠藤 和子)
- ③ 「土・人・地域をつくる『有機の里』構想の実現を目指して」
日本オーガニックカレッジ代表 (広島県神石高原町) 田邊 真三
(農研機構西日本農業研究センター 営農生産体系研究領域 上級研究員 尾島 一史)
※ () 内の農研機構職員から現地紹介を合わせて行います。
- ④ 農研機構発「農村を元気にする研究開発」とは？
農研機構農業環境変動研究センター 企画管理部長 山本 勝利

まとめ

16:15～16:35

農村を元気にする研究開発の取り組むべき方向について

司 会： 農研機構本部経営戦略室 研究管理役 長崎 裕司

コメンテーター： 農研機構中央農業研究センター 所長 梅本 雅

※会場からのご意見も得て、農村が抱える問題を解決するヒントなども明らかにします。

※シンポジウム終了後に、最寄り会場にて講師らと交えた情報交換会（17:30～19:00、有料）も予定しております。

「農村を元気にする総合的な実証研究」シンポジウム参加申込について

- 下記参加申込書または同内容を電子メール、FAX、郵送で、以下の申込先へお送りください。
- ご提供頂いた個人情報は、当シンポジウムの運営に係ること以外には使用いたしません。
- 農研機構のホームページ <http://www.naro.affrc.go.jp/> からのご案内しています。
「広報・イベント」タブのイベント・セミナー情報をご覧ください。

<申込先> 電子メール： naro-noson@ml.affrc.go.jp
FAX： 029-838-8525
郵送： 〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1
農研機構本部 経営戦略室

申込締切日：平成29年7月31日（月）

定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込みください。

----- < き り と り 線 > -----

● 「農村を元気にする研究開発とは？」参加申込書（FAX、郵送用）

ふりがな お名前	所属または職業	住所 (都道府県まで)	連絡先 電話番号 (メールアドレス等)	情報交換会 参加

※ 参加者情報は事務局運営限りいたします。情報交換会に参加希望の方は必ず○を入れてください。